

平素よりきぼうクラブへのご協力、ご理解をいただきありがとうございます。今月は、この一年職員から見たお子さんの成長、嬉しい発見や感動、楽しい出来事等をいくつかお伝えします。

- * 夕暮れ時「あそこに星が見える、月が大きいね」と数名の子が空を眺めて話していると、「もう、暗くなったね」とあまり話さないお子さんが小さな声で言うと隣りの子も、「よるみたい」と言い、話がどんどん繋がりました。子ども同士で言葉のキャッチボールができています。嬉しい発見でした。
 - * 送迎の車の中で、発語の少ない低学年のお子さんがキャッキョと笑う声。何と高学年の男児が「いないいないばあっ!」と両手で顔を隠しパト顔を出す。大人には見せない表情で繰り返していました。
 - * 帰りの会では、自作の紙芝居やなぞなぞをやる子、月手遊びは、数名が前に立つことを楽しんでます。
 - * 絵の具、粘土等の造形活動をする時、各々が集中し良い表情でじっくり取り組むことが分かりました。
- 来年も、伸びようとする力を大切に見守り支援していこうと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

【活動いろいろ】



食育インストラクター山岡さんの独り言 ～ おせち料理の由来 ～

日本の食文化において「おせち料理」というのが真っ先に浮かぶと思いますが、起源としては弥生時代とも平安時代と所説あるようです。種類は祝い肴・口取り・焼き物・酢の物・煮物の5種類でそれぞれ不老長寿・子孫繁栄等具材に意味合いが込められている物が多く、縁起物として1年の計の元旦に食べられています。